

授業改善プラン

地域名	北総教育事務所	学校名	八街市立八街中央中学校
-----	---------	-----	-------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 平成31年度の調査では、特に「記述式の問題」について課題が大きく、無解答の割合も高い。
 - ・「関数」や「資料の活用」の領域では、基礎的な知識の定着不足が無解答につながっている。
 - ・「図形」の領域では、条件が変わることに対する経験が乏しいことが原因と考えられる。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 記述式問題に対する課題の改善のため、グループでの比較検討や自分の言葉でまとめる活動など、考えを主体的に表現する場面を取り入れた授業改善を行う。
- 少人数コース別授業を取り入れ、コースに応じた課題や学習方法を工夫する。

3. 具体的な実践

（1）授業改善

- 第1学年「正負の数」【別添資料1】
 - ・より速く簡単に正確に平均を求める方法を検討し、その方法を伝えられるようにした。
- 第1学年「方程式」【別添資料2】
 - ・方程式を利用して求めた解を吟味し、答えとして適切であるか判断できるようにした。
- 第2学年（学び合いコース）「1次関数」【別添資料3】
 - ・1次関数についての既習内容を分類し、傾きと切片を関連させてまとめられるようにした。
- 第2学年（学び合いコース）「平行と合同」【別添資料4】
 - ・ n 角形の内角の和について帰納的に推測し、 n を用いて表せるようにした。
- 第3学年（学び合いコース）「多項式」【別添資料5】
 - ・倍数の見分け方を文字の式を利用して説明できるようにした。
- 第3学年（じっくりコース）「2次方程式」【別添資料6】
 - ・2次方程式の解法の選び方について自分の言葉でまとめ、選択できるようにした。

（2）少人数コース別授業の展開

第2学年（2C3T）第3学年（1C2T）で「学び合いコース」「じっくりコース」を展開し、実態に応じた進度や内容の工夫や、学習サポーターの積極的活用で、学力と意欲の向上を図った。

4. 成果

- ・授業の中で記述や説明をする場面を積極的に設定しようとする授業改善の意識につながった。
- ・生徒同士で説明し考えを深めるための授業をどのように組めばいいのかが工夫するようになった。
- ・コース別授業では、発展教材や復習を扱うなど実態に応じることで生徒の意欲を継続できた。

◆担当指導主事から（北総教育事務所 指導主事 丸 庸仁）

○八街市立八街中央中学校は、全国学力・学習状況調査の昨年度の分析結果から、課題を焦点化させ、全校体制で授業改善に向けて取組を継続させた。新学習指導要領の指導改善・授業改善へ向けた指導と評価の一体化への研修と研究を深め、『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラムを活用しながら、「自分の言葉で学習のまとめを書く」の実践を繰り返し、課題の克服に向けて取り組んだ。